

(1) ロケ支援作品数等

年度	作品数 (対前年度比)	撮影延べ日数 (対前年度比)
平成14年度(H14.10～)	32作品	227日
平成15年度	135作品 (4.22倍)	555日 (2.44倍)
平成16年度	207作品 (1.53倍)	766日 (1.38倍)
平成17年度	304作品 (1.47倍)	847日 (1.11倍)
平成18年度	336作品 (1.11倍)	1,054日 (1.24倍)
平成19年度	355作品 (1.06倍)	1,218日 (1.16倍)
平成20年度	357作品 (1.01倍)	1,119日 (0.92倍)
平成21年度	378作品 (1.06倍)	1,203日 (1.07倍)
平成22年度	339作品 (0.90倍)	1,078日 (0.90倍)
平成23年度	316作品 (0.93倍)	1,042日 (0.97倍)
平成24年度	390作品 (1.23倍)	1,044日 (1.00倍)
平成25年度	566作品 (1.45倍)	1,065日 (1.02倍)
平成26年度	550作品 (0.97倍)	1,190日 (1.12倍)
平成27年度	583作品 (1.06倍)	1,130日 (0.95倍)
計	4,848作品	13,538日

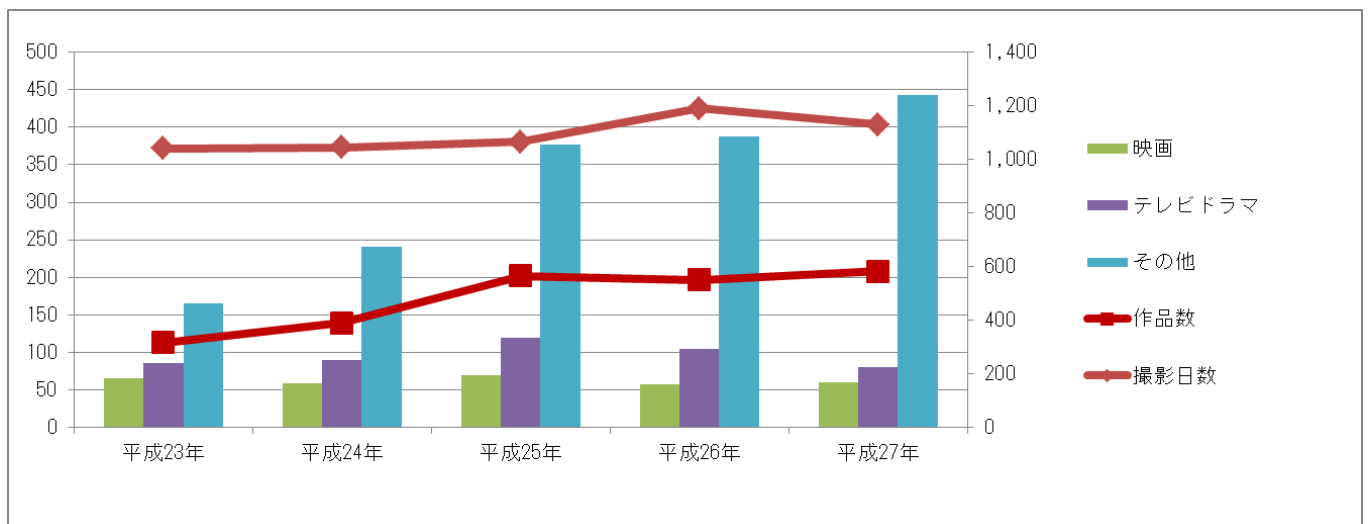
(2) ジャンル別ロケ実施状況

ジャンル	作品数	構成比
映画	60作品	10.3%
テレビドラマ	80作品	13.7%
その他 (コマーシャル、プロモーションビデオ等)	443作品	76.0%
計	583作品	100.0%

※2015年公開の興行収入10億円以上の邦画(実写)27作品のうち、県内FCが10作品を支援。
(2014～2015年撮影)

「進撃の巨人 ATTACK ON TITAN」 「寄生獣」 「図書館戦争 THE LAST MISSION」
「バクマン。」 「進撃の巨人 ATTACK ON TITAN エンド オブ ザ ワールド」
「龍三と七人の子分たち」 「寄生獣 完結編」 「バンクーバーの朝日」
「イニシエーション・ラブ」 「天空の蜂」

※(一社)日本映画製作者連盟発表資料から



(3) 地域別ロケ実施状況

(箇所数は重複)

地 域	箇 所 数	構 成 比
県 北	148箇所	19.8%
県 央	162箇所	21.7%
鹿 行	65箇所	8.7%
県 南	215箇所	28.7%
県 西	158箇所	21.1%
計	748箇所	100.0%

① 地域別の主なロケスポット

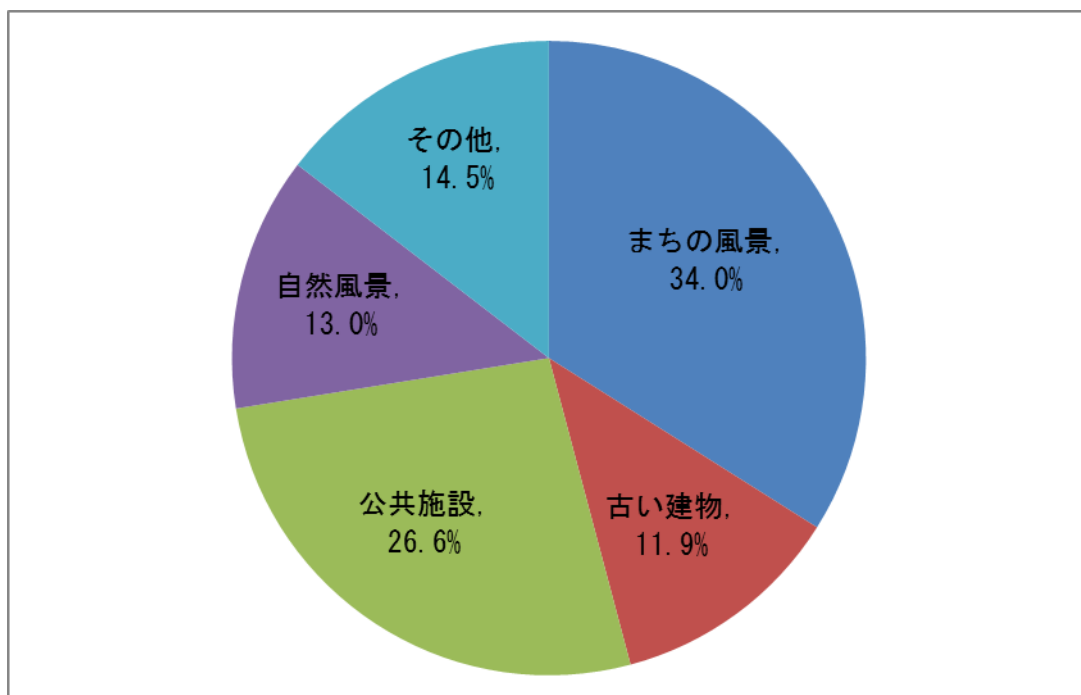
- ・ 県北地域：「旧上岡小学校」(大子町) 「赤浜海岸」(高萩市)
- ・ 県央地域：「茨城県庁」 「水戸駅ペDESTリアンデッキ」 (水戸市)
「茨城空港」(小美玉市) 「筑波海軍航空隊記念館」(笠間市)
- ・ 鹿行地域：「青塚・須田浜海岸」(鹿嶋・神栖市) 「旧八代・旧徳島小学校」(潮来市)
- ・ 県南地域：「ワプステーション江戸」(つくばみらい市) 「牛久愛和総合病院」(牛久市)
「善光寺」(石岡市)
- ・ 県西地域：「坂野家住宅」 「あすなろの里」(常総市) 「鷹見泉石記念館」(古河市)

② ロケが行われた作品の撮影場所の傾向

- ・ まちの風景 (つくばセンター広場、公園、病院等)
- ・ 古い建物 (筑波海軍航空隊記念館、県三の丸庁舎、旧家、寺院等)
- ・ 公共施設 (県庁、市役所庁舎、学校等)
- ・ 自然風景 (海岸、河川、山道等)

撮影場所別ロケ実施状況

撮影場所	箇 所 数	構 成 比
まちの風景	254箇所	34.0%
古い建物	89箇所	11.9%
公共施設	199箇所	26.6%
自然風景	97箇所	13.0%
その他	109箇所	14.5%
計	748箇所	100.0%



2 フィルムコミッションがもたらす効果

(1) 撮影隊による茨城県内消費推計額 及び 経済波及効果推計額

① 撮影隊の県内消費推計額 : 約3億5千万円

- ・平成27年度に撮影隊がもたらした宿泊費、弁当代及び撮影機材のレンタル料など、アンケート調査等を基に算出

年度	消費推計額 (対前年度比)
平成14年度(H14.10～)	約 7 千万円
平成15年度	約1億9千万円 (対前年度比2.71倍)
平成16年度	約3億円 (対前年度比1.58倍)
平成17年度	約3億4千万円 (対前年度比1.13倍)
平成18年度	約3億6千万円 (対前年度比1.06倍)
平成19年度	約3億7千万円 (対前年度比1.03倍)
平成20年度	約3億5千万円 (対前年度比0.95倍)
平成21年度	約3億9千万円 (対前年度比1.11倍)
平成22年度	約3億3千万円 (対前年度比0.85倍)
平成23年度	約3億4千万円 (対前年度比1.03倍)
平成24年度	約3億6千万円 (対前年度比1.06倍)
平成25年度	約3億7千万円 (対前年度比1.03倍)
平成26年度	約4億3千万円 (対前年度比1.16倍)
平成27年度	約3億5千万円 (対前年度比0.81倍)
計	約4億5千万円

② 撮影隊消費推計額による経済波及効果の推計額 : 約4億8千万円

- ・国土交通省総合政策局「ロケーション撮影による地域経済効果の推計手法等に関する調査報告書」の係数をもとに算出

年度	経済波及効果推計額 (対前年度比)
平成14年度(H14.10～)	約1億円
平成15年度	約2億7千万円 (対前年度比2.70倍)
平成16年度	約4億1千万円 (対前年度比1.52倍)
平成17年度	約4億7千万円 (対前年度比1.15倍)
平成18年度	約5億1千万円 (対前年度比1.09倍)
平成19年度	約5億2千万円 (対前年度比1.02倍)
平成20年度	約5億円 (対前年度比0.96倍)
平成21年度	約5億4千万円 (対前年度比1.08倍)
平成22年度	約5億円 (対前年度比0.93倍)
平成23年度	約5億2千万円 (対前年度比1.04倍)
平成24年度	約5億4千万円 (対前年度比1.04倍)
平成25年度	約5億5千万円 (対前年度比1.02倍)
平成26年度	約6億1千万円 (対前年度比1.10倍)
平成27年度	約4億8千万円 (対前年度比0.79倍)
計	約6億5千万円

(2) 茨城の魅力を県内外に情報発信

- ① 映画やテレビドラマなどが上映・放映され、エンドクレジットなどで撮影地として地名等が掲出。
- ② ロケ地茨城の話題がメディアなどで取り上げられる。
 - ア 新聞、雑誌（ロケーションジャパン等）や県内タウン誌（「イージープレス」等）、道の駅旅案内などに、県内ロケ作品やロケ地が紹介される。
- ③ 魅力あふれるロケ地茨城をPR
 - ア いばらきFC・市町FCのホームページ等で、ロケ情報やロケ適地などを紹介
(合計で約550箇所、約2,000点を掲載)
 - いばらきFCでは、メールマガジンやホームページの新着ニュースとして、ロケ情報等を発信
(メルマガ登録者1,476名。メルマガ86通。新着ニュース178件)
 - イ ロケ地マップの作成
○「いばらきロケ地マップ」を作成し、県内ロケ地を紹介
(市町村や映画館、日本映画監督協会等約100箇所に配布)

(3) 撮影日数が10日以上の子な作品

- ・ドラマ「仮面ライダードライブ」 (牛久市：牛久クリーンセンター ほか)
- ・映画「サクラ花～桜花最期の特攻～」 (阿見町：JA倉庫 ほか)
- ・バラエティ「出沒！アド街ック天国」 (土浦市内)
- ・ドラマ「下町ロケット」 (つくば市：(株)フジキン ほか)
- ・ドラマ「JKは雪女」 (小美玉市：旧小川高校 ほか)
- ・映画「鉄の子」 (常総市：民家)
- ・映画「女子高」 (土浦市内 (オール土浦ロケ))

(4) 県民のエキストラ参加による郷土愛の醸成

県民の方々が映画やドラマ等83作品にボランティアエキストラとして延べ約4,800人が参加
＜県民エキストラの声＞

- ・スタッフさんのご苦勞を思い出しながら作品を見るのがおもしろい。エンドロールで茨城の地名や施設名等が出ると、ブランド力アップにもつながるではないでしょうか。これからはたくさんロケに来てほしいです。
(出演作品：スキヤニー)
- ・映画製作を目の当たりにできる貴重な機会なので、どんなに時間がかかっても撮影参加は楽しいです。
(出演作品：太陽の蓋)
- ・ドラマって物凄く沢山の人達によって出来ていて、監督さんはじめ俳優さん、スタッフの皆さんの作品に対する熱い思いを目の当たりにする事が出来て、とても幸せでした。
(出演作品：下町ロケット)
- ・身近な場所でドラマの撮影をやったのは意外とびっくりでした。
(出演作品：ラストコップ)

(5) ロケ地を活用したスクリーンツーリズムの促進

いばらきツアーオフィスでは「いばらきよいとこプラン」において、映画『桜田門外の変』や『天心』のロケ地見学を盛り込んだコースを実施した。

- ①高萩・北茨城を巡る映画・ドラマのロケ地と海の幸・紅葉満喫ツアー
11月3日(火・祝) 27人参加

3 全県的なロケ支援体制

(1) 市町村と連携したFC活動

○茨城県（いばらきFC）では、「茨城をまるごとお貸しいたします」をキャッチフレーズに、市町村と連携し、ロケの誘致を推進

○「茨城県フィルムコミッション等協議会（平成20年4月設置）」による県内FC等の連携を充実

・ロケ情報の共用化を図るため、ロケの相談やロケ適地の情報交換等を行う。

・平成28年3月31日現在、加盟市町数が28になり、県内市町村の半数を超える。

※構成員：28団体（県、FC設立25市町、FC設立検討3市（H28.3.31現在））

FC設立：茨城県、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、筑西市、稲敷市、神栖市、つくばみらい市、大子町、阿見町、河内町、境町

FC設立検討：下妻市、坂東市、かすみがうら市

(2) 市町村においてFC設立が進む

○24市町において、FCを設立

（平成28年3月31日現在 設立順）

	活動区域	FCの名称	設立・運営団体	設立
FC設立 26団体 県 + 21市 + 4町	茨城県	いばらきフィルムコミッション	観光物産課フィルムコミッション推進室	H14年10月
	常総市	常総フィルムコミッション	商工観光課フィルムコミッション推進室	H15年6月
	潮来市	いたこフィルムコミッション	観光商工課	H17年4月
	北茨城市	北茨城ロケ支援隊	商工観光課	H17年5月
	牛久市	牛久フィルムコミッション	商工観光課	H18年3月
	つくばみらい市	つくばみらいフィルムコミッション	市民サポート課	H18年3月
	取手市	取手フィルムコミッション	産業振興課	H18年4月
	つくば市	つくばフィルムコミッション	つくば観光コンベンション協会	H18年4月
	古河市	古河フィルムコミッション	観光振興課	H20年3月
	土浦市	土浦フィルムコミッション	商工観光課	H20年4月
	大子町	大子町フィルムコミッション	企画観光課	H20年7月
	高萩市	高萩フィルムコミッション	観光商工課フィルムコミッション推進室	H21年4月
	笠間市	笠間市フィルムコミッション	商工観光課	H21年7月
	石岡市	いしおかフィルムコミッション	商工観光課	H22年4月
	稲敷市	いなしきフィルムコミッション	商工観光課	H23年1月
	筑西市	ちくせいロケーションサービス	商工観光課	H23年7月
	龍ケ崎市	龍ケ崎フィルムコミッション	シティセールス課	H24年1月
	常陸太田市	常陸太田フィルムコミッション	観光振興課	H24年2月
	結城市	ゆうきフィルムコミッション	産業振興課	H24年4月
	神栖市	かみすフィルムコミッション	神栖市観光協会	H24年4月
	阿見町	あみフィルムコミッション	商工観光課	H24年4月
	境町	境町フィルムコミッション	境町観光協会	H25年2月
	水戸市	みとフィルムコミッション	みとの魅力発信課	H26年4月
	ひたちなか市	ひたちなか市フィルムコミッションガイド	観光振興課	H26年4月
	河内町	河内町フィルムコミッション	経済課	H26年4月
	鹿嶋市	かしまフィルムコミッション	商工観光課	H27年4月
FC設立検討 3団体 (3市)	下妻市	FC設立検討	下妻市観光協会	
	坂東市	〃	商工振興課	
	かすみがうら市	〃	観光商工課	

●県内各地での主な撮影風景

- ・映画「サクラ花―桜花最期の特攻―」
行方市：大宮神社（夏祭りのシーン）



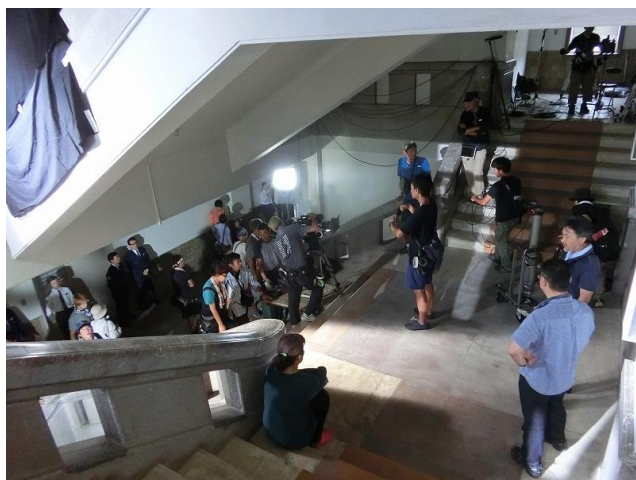
水戸市：県民文化センター（映画館のシーン）



- ・映画「僕だけがいない街」
笠間市：笠間市商工会前交差点（交通事故のシーン）



- ・映画「クリーピー 偽りの隣人」
水戸市：県三の丸庁舎（記者が刑事を取り囲むシーン、警察を退職するきっかけとなった事件のシーン）



・ドラマ「わたしを離さないで」
大洗町：大洗海岸（恩師との再会シーン）



ひたちなか市：歩道（自分のオリジナルを探すシーン）



・ドラマ「ヒガンバナ〜警視庁捜査七課〜」
水戸市：茨城県庁議会棟（捜査会議のシーン）



茨城県庁（所轄署に犯人を連行するシーン）



・ドラマ「モンタージュ」
日立市：助川海防城跡（墓地公園のシーン）



日立市平和通り沿い（街並みを歩くシーン）

